

新旧ルールの対比 (特に必要と思われる一部のみ：表記は簡潔にするためルールブックとは異なる)

		改 訂 前	改 訂 後
試合形式		・ 15 P × 3 G (WSのみ 11 P × 3 G)	・ 21 P × 3 G (全種目)
ラストオール		・ セッティング	・ 2点差になるまで(30 Pまで)
ポイント		・ サービス権をもつサイド	・ ラリーに勝ったサイド(ラリーポイント)
ダブルスのサービス		・ 2本ずつ(セカンドサービスの存在)	・ 1本ずつ
監督, コーチからの指示		・ インターバル間のみ	・ インターバル間 ・ マッチ中でシャトルがインプレーでないとき ・ 指定された椅子に <u>着席する</u>
オーバールール		・ その審判員の責任とするすべての事実に関して最終のもの	・ 主審は線審が明らかに間違ったコールをした場合は線審の判定を変更することができる。
サー ビ ス	遅延行為		・ サーバーのラケットヘッドの後方への動きが完了したらすぐにサービスをしないと、サービスの不当な遅延行為とみなされる。(主審およびサービスジャッジが判定)
	ウエストライン		・ 肋骨の一番下の部位の高さで胴体回りの架空の線(付加)
	シャフトの向き	・ ラケットヘッドの最上点がそれを持つ手の最下点より低い位置でサービス	・ シャトルを打つ瞬間にシャフトが下向き
	サービングサイド	・ シングルス 自点が, 偶数…右側, 奇数…左側 ・ ダブルス 自点が, 偶数…ゲーム開始時のファーストサーバーが右側 奇数…ゲーム開始時のセカンドサーバーが右側 ・ 間違いに気づいた場合 (省略)	・ シングルス 自点が, 偶数…右側, 奇数…左側は変わらないが, 1点加点されてのサービスオーバーなので, 常に左右が入れ代わる ・ ダブルス → 後述 ・ 間違いに気づいた場合 その時点での正しいサービングサイドに戻し, それまでのスコアでゲームを続ける (ダブルスのサーバー, レシーバーもこれに同じ)
マ ッ チ 中	給水, 他	・ 給水は審判の許可のもとで行える	・ 給水は審判の許可のもとで行えるがあまり許可しない(インターバル時は可能) ・ <u>プレーを止めないのであれば手を拭くことはできる</u>
	シャトルの交換	・ 対戦選手同士の合意があれば原則交換可能	・ 主審がシャトルの状態が悪いときのみ許可する